

日本酒 ヴィーガンも安心

英国の「The Vegan Society」から、海外でも売り上げが伸びている「色おとこ」など五種類が認証を受けた。二月からの出荷分で、ラベルに認証マークを印字する。

同社は環境に配慮した取り組みとして、主力商品「蓬菜」上撰の包装紙の廃止にも踏み切っている。今回は、健康志向や環境への配慮、動物

愛護の観点のほか、国内でも日本酒のヴィーガン認証が増えていることを受けて、取得を目指した。日本酒造りでは、ろ過の段階の「滓下げ剤」として動物性タンパク質を使うことがあるが、同社では現在、使用していないという。

同社ではこれまで四十カ国に輸出した実績があり、輸出の売り上げも昨年は前年比で約35%増加。ヴィーガン認証の取得で、これまで以上に輸出に弾みをつけたい考えだ。渡辺久憲社長は「輸出は今後も可能性がすくあるので、できるだけ多くの人に手に取ってもらえるチャンスになれば。海外の人にも安心して選んでもらえる、安全で高品質な日本酒を広げたい」と話した。(吉本章紀)

飛驒・渡辺酒造店が認証取得



5種類の商品でヴィーガン認証を取得した渡辺酒造店の渡辺社長＝飛驒市古川町で